



UBEグループは、CSRの原点である「共存同栄」の精神と経営理念に基づき、「社会貢献活動基本指針」を定め、さまざまな社会貢献に取り組んでいます。

地域とのコミュニケーションを中心に報告します。

<https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/sustainability/communication/community.html>

社会貢献活動基本指針

UBEグループは、社会貢献活動に関する基本方針を定めています。



レスポンシブル・ケア (RC) *1地域対話

2019年度は山口西地区と堺・泉北地区において、第12回RC地域対話*2の集会を開催し、環境保全などへの企業の取り組みについて地域の方々と相互理解を深めました。

集会では、有識者の方々による講演もありました。山口西地区(11月開催)では、「近年の自然災害から学ぶこと」(宇部市総合戦略局・防災アドバイザー)を、そして、堺・泉北地区(2月開催)では、「レスポンシブル・ケア」の紹介とそのコミュニケーション活動について」(日化協RC推進部長)と、「【予防救急】知って防ごう!救急事故」(堺市消防局)を拝聴しました。

海外における社会との共生:

スペイン

UBE Corporation Europe, S.A.
Unipersonal (UCE)

2019年4月4日、長年にわたる交流を経て、カステジョ市と宇部市は、駐日スペイン大使およびUBEグループ代表団列席のもと、姉妹都市の提携を結びました。

2019年度、UCEは、カステジョ大学から山口大学へ交換留学生を1名派遣し、資金援助を行ったほか、宇部市の派遣団を受け入れ、山口放送(株)の撮影に協力しました。また、第21回スペイン・日本フォーラムでは、UCEとカステジョ市職員が都市外交の事例を発表し、スペインに

おけるプラスチック循環型経済のヒントとして「日本のエコタウンモデル」が紹介されました。

UCEはさまざまなボランティア活動等に参加し、参加社員94名のボランティア活動は延べ360時間でした。社員とその家族のための「UCEオープンドア」には430名が参加しました。

タイ

UBEグループ(タイランド)^(注)では、「社会的責任を果たす良き企業市民であり続けること」をCSR活動の指針として、地域社会と積極的にコミュニケーションをとっています。

2019年8月7日、地域住民と役所職員50人が「オープンハウス」に参加しました。「オープンハウス」は、地域の意見をくみ取り、また、私たちの工場の現況を説明するなど、相互に情報を共有する機会として毎年開催しています。参加者には、製品や製造工程、私たちの安全への取り組みについて理解を深めてもらうため、工場見学も実施しています。

今後も、活動指針に沿った取り組みを積極的に行い、より良い企業市民を目指します。

(注)UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED
UBE Fine Chemicals (Asia) Co., Ltd.
UBE Technical Center (Asia) Limited
RAYONG FERTILIZER TRADING CO., LTD.
UBE (Thailand) Co., Ltd.



第12回山口西地区のRC地域対話



スペイン:「UCEオープンドア」の参加者



タイ:「オープンハウス」での意見交換

用語解説

- *1 レスポンシブル・ケア(RC):化学物質を扱う企業が化学物質の開発から、製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表して社会との対話・コミュニケーションを行う活動。
- *2 RC地域対話:一般社団法人日本化学工業協会(日化協)RC委員会の地区会員企業が、地域のステークホルダー(地域住民、市民団体、行政関係者など)と、RC実施項目(環境保全、保安防災など)への取り組みについて相互理解を深めるため、各地区において2年ごとに開催する対話集会。